



= 『折尾レトロ観光』パンフレット完成!! =

北九州市きらきら助成事業で作成中の「折尾レトロ観光」のパンフレットができました。

A5サイズの15ページからなる構成で、かわいい子ども達が案内をしてくれます。

現在、折尾駅周辺は、「折尾地区総合整備事業」で街が大きく変わりつつありますので、取壊される前に、かつて、**遠賀の都や交通の要衝として栄え、体当たり勇士や多くの方々が命がけで守ってきた沢山の歴史遺産を、知って、本物を見て、触れて、心に残してもらえればと思います。**

『今しか見られない歴史遺産』や、「へえ〜!」と思うようなことを満載しています。

【主な内容】

P1……………堀川沿いの飲食街、旧・西鉄電車赤煉瓦アーチ高架橋（ねじりまんぼ）

P2……………折尾駅舎

P3~P4…………折尾駅の生きた遺産と、おもしろい迷路の構内の案内

P5~P7…………大切な「おりを」の歴史遺産

P8……………赤煉瓦トンネル

P9……………角打ち、折尾駅警察署・旧庁舎、鷹見神社など

P10~P13…近代化産業遺産『堀川運河』

P14……………学生の街・折尾（大学9校、高校5校など）

P15……………資料提供の方々、後付

裏表紙……………大正時代と現代の折尾駅舎の比較

※パンフレットの内容は、当会のホームページで紹介をします (<http://www.friestar.com>)

数に限りがありますが、パンフレットをご希望の方は、ご連絡ください。

連絡先：090-2710-9810(マカ) メール：info@friestar.com



この冊子を制作するにあたり、多くの方々のご協力をいただきました。本当に、ありがとうございました。いろいろなことを見聞きし、調べ、改めて、先人の偉大さを再認識しました。

◆**堀川運河**は、全長12kmで、完成まで183年を要しましたが、この堀川運河があったことで官営八幡製鉄所ができ、筑豊の石炭を運んで、日本の近代化産業が発展しました。この偉業を、北九州市・水巻町・中間市の小学校4年生が副読本で学び、見学に訪れています。

◆**折尾駅**は、日本最古の立体交差駅で、迷路のような構内といわれますが、約1kmも離れた違う会社の駅を同じ建物の中に入れたり、折尾を通過する電車を折尾に停車するようにした、地域の利便性の結果なったものです。しかし、その奇想天外な発想のお蔭で、東西南北から人を集められることで学園都市になり、更に、学術研究都市術ができ、今や大学9校・高校5校の学生の多い街になりました。

このように、**折尾周辺には、どんな困難や逆境にも負けず、日本の発展のため、人々の利便性のために、自分にできることは、協力を惜しまずやってきた、「折尾の物語」があります。**

今回、載せきれなかった内容は、当会のホームページでも紹介をしていきますのでお楽しみに！